

**2017 年度日本デザイン学会秋季企画大会会告**

2017 年度日本デザイン学会秋季企画大会を、下記要領にて開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。今年度から秋季企画大会は、地方で開催することになりました。春の大会とは異なり、自由な研究交流が行えるようにイベントを企画しました。初秋の函館にぜひお集りください。

■日程：2017 年 10 月 13 日（金）～ 10 月 15 日（日）

■会場：函館市地域交流まちづくりセンター（函館市末広町）、他  
 ・最寄り駅：函館市電 十字街駅  
 ・詳細情報：詳細情報は、以下の秋季大会特設サイトをご覧ください。順次更新して行きます。

<http://www.fundesign.jp/jssd2017f/>

■開催までの主要日程：

オンライン参加登録：8 月 4 日（金）～ 9 月 15 日（金）

・企画テーマ：

「共創・当事者デザイン」

—当事者と共にデザインすることの意味—

共創に関連する様々なデザインの研究や実践が盛んに行われています（参加型デザイン、Co-Design、Inclusive Design 等）。共創の時代とは何か、新しい時代にデザインに求められることは何かを討論会、研究発表やワークショップ等を通じて考えて行きたいと思えます。

■主なプログラム：

- ①企画テーマ討論会：企画テーマ「共創・当事者デザイン」について、デザイン研究者、市民活動家、建築家などから話題提供をいただき、参加者のみなさんとともに議論を行います。話題提供予定者：安岡美香（IT University of Copenhagen、デザイン）、上平崇仁（専修大学、デザイン）、高田傑（建築家）他検討中。
- ②企画テーマセッション：「共創・当事者デザイン」に関連した、あるいは「その他」の発表を募集します。発表時間（5 分）と質疑（5 分）と短いですが、多様な話題を共有することができます。研究成果、活動紹介、研究コンセプトの紹介等、多様な発表を募集します。
- ③企画テーマワークショップ：「旅するデザイン—函館編」。函館市の旧市街をフィールドにし、「共創・当事者デザイン」について考えるワークショップです。
- ④学生プロポジション：学生の研究成果を発表する場です。発表形式は、ポスターと作品を用いた対話型発表です。優秀者には、幾つかの賞が授与されます。
- ⑤研究部会研究会：研究部会の研究会の場を提供いたします。

函館市西部地区（歴史的伝統建造物が多数ある街区）の建物や部屋をお使いいただけます。希望する研究部会は、秋季大会特設サイトを通じてお申し込みください。発表形式、テーマなどは、部会で自由に決めていただいて結構です。

**2017 年度日本デザイン学会秋季企画大会  
学生プロポジション募集の案内**

日本デザイン学会では、デザインを学ぶ方々へのデザイン学研究の普及を目的に、秋季企画大会「学生プロポジション」展覧会を実施しています。本年の秋季企画大会は 10/13（金）～ 10/15（日）に公立はこだて未来大学で開催されますが、その中で 10/14（土）13：00～14：40、函館市地域交流まちづくりセンターにて実施します。

「学生プロポジション」では、大学、大学院あるいは専門学校でデザインを学ぶみなさまが、日頃の研鑽の成果を展示発表し、交流することで、幅広いデザインの知と技を共有します。特に、本年度は第 1 支部と共催し、また開催校の特色を生かして〈デザイン×情報〉の交流の場になることが期待されます。また、出展者の学生諸君には大会プログラムを聴講いただき、学会活動への関心を高めていただきます。

なお、当プロポジションは、指導の先生方から応募いただけますようお願いいたします。学生本人から申込をする場合には、別途、お問い合わせください。本会が、数多くの学校からの参加によって、明日を担う学生たちの交流の場となることを楽しみにしています。

■開催場所：函館市地域交流まちづくりセンター

■開催日程：2017 年 10 月 14 日（土）13：00～14：40

■実施方法

1. 応募資格：大学院生、大学生、専門学校生の個人あるいはグループ
2. 対象作品・研究：デザイン、情報に関わる卒業研究や授業課題、あるいは研究室プロジェクトの成果
3. 出展費用：出展 1 件、1,000 円・当日受付にてお支払いください。「出展者の学生（代表者 1 名）」は大会への参加が可能です。代表者 1 名以外の方が大会プログラムを聴講する場合は、別途、大会受付で手続きをお願いします。
4. 展示形式・出展 1 件につき、ポスターによる展示、作品現物の展示も可・ポスターは A1 サイズ（縦位置）1 枚、作品現物は 40cm × 40cm 以内のもの（共に送付は受けません）・出展者が展示場所で発表することが条件
5. 展示方法（a）ポスターや作品現物を当日持参し、設営、展

示、発表（終了後に撤去し持ち帰る）会場内の展示位置は受付確認メールの「2017年度JSSD学生プロポジション応募受付番号」で指定（b）当日の進行（出展数によるスケジュールの変更はありません）、11:00～12:00 出展登録・設営、13:00～14:40 発表と議論、14:40以降撤去（受賞者には追って表彰状を送ります。）

6. 出展キャンセル・応募受け付けされた展示をキャンセルする場合は、大会1週前の10/7（土）までに、メールで連絡すること。
7. 大会参加・本学生プロポの学生以外の出展者（教員等）は、所定の大会参加費をお支払いいただきます。・出展者の学生の方は、「出展者名札（代表者1名）」を提示することで、大会プログラムを聴講することができます。代表者1名以外の方が、グループ出展で大会プログラムを聴講する場合は、別途、大会受付で受付をお願いします。

#### ■応募方法

1. 応募締切：9月15日（土）17:00
2. 応募方法：出品研究・制作ごとに、下記要項を記載し、学生プロポジション事務局メールアドレス〈2016jssd@gmail.com〉に応募してください。応募メール受領後に事務局からお送りする確認メールをもって応募手続き完了とします。なお、同一人物が複数件応募する場合も、出展1件につき1応募となります。応募記載事項：(a) 応募メールの件名：「2017年度JSSD学生プロポジション応募」(b) 出展作品・研究題目：(c) 代表者氏名・ふりがな・年齢（大会当日時点）・所属 (d) 共同研究の場合は全員分の氏名・ふりがな・年齢・所属 (e) 代表者メールアドレス・電話番号 (f) 指導教員氏名・所属・教員メールアドレス (g) 備考として、実物の持ち込み、電源の使用希望等、質問があれば記入してください (h) 応募受付後確認メールを事務局よりお送りします。「2017年度JSSD学生プロポジション応募受付番号」は当日の受付番号になります。

#### ■問い合わせ先

日本デザイン学会 秋季企画大会実行委員会+研究推進委員会  
学生プロポジション事務局 〈2016jssd@gmail.com〉  
担当：工藤芳彰、永盛祐介、安井重哉、美馬義亮、小林昭世

## 2017年度作品集 第23号 作品募集

作品審査委員会

2017年度作品集に掲載する作品を募集します。作品集は、デザインの優れた成果物を示すとともにそのデザインのプロセスにおける創造的で構成的な思考を外化し、それらをデザインの知として共有し交換するメディアです。作品集の原稿は、成果物とそれを創造する技と知を論述した「作品論文」、そして作品内容を示すデジタルコンテンツやインタラクションの動画映像である「作品ムービー」で構成されています。「作品論文」のみの応募も受け付けます。掲載する論文は4頁あるいは6頁、映像の尺は3分以内です。ふるってご応募ください。

尚、既に公開されている応募作品は、原則として応募の締め切り日より過去2年以内に発表されたものが対象になります。環境デザインなど、デザインの熟成や完成に時間がかかる作品等についてはこの原則を適用しない場合があります。事務局にメールで問い合わせください。

作品集は昨年度版22号よりJ-Stageサイトで掲載する電子媒体でのみ発行となりました。

作品審査委員会事務局

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8  
東京藝術大学 美術学部デザイン科 須永剛司  
e-mail: jssd.sakuhinshu@gmail.com

投稿にあたっては、日本デザイン学会 web サイトの「論文・作品集/作品投稿案内」(jssd.jp/papers-and-works)を参照ください。

#### 【締切り】

2017（平成29）年8月31日

（応募投稿期間は8月20日から31日）

作品の審査結果報告は10月下旬の予定です。

## デザイン学研究・作品集22号（2016）の概要

作品審査委員会

「デザイン学研究・作品集22号（2016）」が電子ジャーナルとしてインターネット上のJ-Stageに掲載されました。ここにJ-Stage掲載についてと、22号の概要を示します。

## J-Stage での掲載公開について

作品集の電子ジャーナル出版は作品集 20 号（2014）より始まり、昨年度までの 2 年間は印刷物と並行出版してきました。本号より、デザイン学会誌「デザイン学研究・作品集」の印刷物、およびそこに付録添付された「作品集 DVD」の発行が廃止され、今後は電子ジャーナルとしてのみの出版となります。J-Stage に掲載公開されることにより、電子化作品論文・作品ムービーとして、世界中どこからでもアクセスが可能となっています。

J-Stage 上の「デザイン学研究・作品集」は「本文 pdf、抄録、引用文献、電子付録」の項目で構成されています。作品論文は「本文 pdf」から、作品ムービーは「電子付録」から閲覧できます。なお、作品ムービーは、各作品論文の「書誌事項」ページのタブ「電子付録」から閲覧できます。下の URL から閲覧できます。

[https://www.jstage.jst.go.jp/browse/adrjssd/22/0/\\_contents/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/adrjssd/22/0/_contents/-char/ja/)

刊行物の書誌情報（著者名、表題など）の閲覧と本文のダウンロードが、どなたでも無料で利用できます。

ただし、本号は発行後 1 年以内なので本文の閲覧は学会員など関係者のみとなっています。定額機関登録されている大学など機関内のネットワークから閲覧するか、機関外からは「購読者番号：jssd2012、パスワード：dssj2012」を入力し閲覧してください。

\*注：J-Stage は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が構築運営している「科学技術情報発信・流通総合システム」であり、学会誌などの無料公開システムです。



## デザイン学研究・作品集 22 号（2016）目次

三好 大輔

地域映画づくり：ホームムービーを映画にする仕組み | 8ミリフィルムが記録した暮らし [作品ムービー添付]

Miyoshi Daisuke

Regional Filming: A film making project made of home movies | Life of SHOWA era recorded on 8mm films

原田 泰

不思議楽器を作ろう | プログラミング体験のための道具と活動のデザイン [作品ムービー添付]

Harada Yasushi

Wonder Musical Instruments | Designing of Tools and Activity for Computer Programming

蛭田 直

正三角形のユニットでパターンデザインの制作と学習ができるウェブアプリケーションの開発 [作品ムービー添付]

Hiruta Sunao

Development of a Web application for Equilateral Triangle Pattern Design Production and Learning

津田井 美香

吹き付けによる和紙の立体成形手法の開発

Tsutai Mika

Design Development of New Shaping Methods of Sprayable Japanese Paper

垂見 幸哉

Light Scale : 「光の音階」のデザイン [作品ムービー添付]

Tarumi Koya

Light Scale: Designing musical scale by Light spectrum

野口 企由

古材を構成材として有効利用した大型テーブルトップのデザイン [作品ムービー添付]

Noguchi Kiyoshi

Design of large tabletops by utilizing salvaged ancient wood as their assembly components

三野宮 定里

博物館展示のためのデジタルアーカイブのデザイン

Sannomiya Yasunori

The Designing of the Digital Archive for Utilising Museum Materials

川口 一画

ヒカリツミキ：光による情報可視化手法を用いたハードウェア  
学習用モジュール型玩具

Kawaguchi Ikkaku

Hikari Tsumiki: Module Toy for Hardware Education Which  
Visualize Information Using Visible Light

丸山 素直

美しさを感じる力と美しさを想像する力を引き出す創造活動の  
デザイン [作品ムービー添付]

Maruyama Sunao

Creative activity design to draw out aesthetic feeling and  
imagining beauty

小菅 瑠香

テヅカフェ：道の駅レストランのデザインプロジェクトと教育的効果

Kosuge Ruka

TEZUcafe: A design project of the roadside station cafe, and  
the educational benefits

長尾 徹

グループワーク用家具の開発

Nagao Toru

Development of furniture for group work

橋田 規子

ピエルポ：デスクワーク時に使用するフットレストの開発

Hashida Noriko

Pierpo: Development of a footrest for desk work

滝本 成人

障がい者用包丁のデザイン開発

Takimoto Narihito

Design and development of kitchen knife for disabled persons

蛭田 直

ブナの実羊羹：中山間地域の里山資源の価値を伝達するパッケージデザイン [作品ムービー添付]

Hiruta Sunao

Beech Nuts Yokan: Package Design for a Local Specialty Using  
Resources of Satoyama-woodlands in a Semimountainous Area  
in Central Japan

杉岡 敬幸

OCTET：名古屋国際会議場における観光案内所の改修計画

Sugioka Takayuki

OCTET: Renovation of the Information Station in Nagoya  
Congress Center

山本 早里

茨城県立土浦第三高等学校色彩計画 | 教育施設の色彩計画

Yamamoto Sari

Color Planning for Tsuchiura Third Senior High School |  
Color Planning for Educational Facilities

宮地 英和

日本の伝統紋様を使用した積み木のデザイン

Miyaji Hidekazu

The design of building blocks with Japanese traditional pattern

注) 本文 pdf の

- ・著者名横の記号■は日本デザイン学会正会員、□はデザイン学会非会員を示す。
- ・タイトル上の記号は作品の種類「a：具体化され社会的認知を得ている作品」か「b：研究的あるいは実験的な提案としての試作品」を示す。
- ・同記号の「movie」は作品ムービーがともなっている作品を示す。

## 2016 年度の作品集づくり

日本デザイン学会が最初の作品集を発刊したのは1995年度である。通巻1号の巻頭言に当時の森紀彦学会長の言葉がある。「デザイン学研究において、理論の研究と実際の設計・制作はいわば車の両輪である。…作品集は単に優れた作品の結果だけを集めたものではなく、デザイン実現化の過程でどんな研究・開発あるいは思考プロセスがあったのかも発表する」。また、同号巻末の経過報告には、さかのぼること「1990年に、当時稲次敏郎会長と出原栄一副会長によって「作品を論文と同等に扱う」ことを検討する」ことが始まった、と西沢健理事の言葉が記されている。

作品集はデザインの優れた成果物を示すとともに、そのデザインのプロセスにおける創造的で構成的な思考を外化し、それをデザインの知として論述し、それらを学会員が共有し交換するメディアである。本号を発刊するにあたり、優れたデザイン作品創作の知恵を論述し、デザインされた姿の魅力を伝えるムービーを制作された応募・投稿者のみなさま、また複数回の審査に参加いただいた専門審査委員の方々、そして応募から最

終審査までのプロセスを担った本委員会の委員と幹事の方々の努力に感謝します。

### 募集・審査・発行の経緯

今年度は、厳正な作品審査を経て優れた作品 17 件の掲載が可能となった。内 7 件に作品ムービーが添付されている。採択率は 57% である。応募投稿・審査・編集・発行の流れを以下に記しておく。

- ・作品募集の告知：2016 年 7 月 1 日（学会メール通知、学会誌へのチラシ同梱、研究発表長野大学でのチラシ配布）
- ・作品応募投稿受付：告知した 8 月 31 日を変更し、9 月 5 日に締切（応募受付：30 件）

今年度改定の作品投稿規定などの JSSD サイト反映に不備があり、応募締め切りを 8 月末から 9 月 5 日に延期

第 1 回審査会：9 月 9 日

- ・第 1 次審査：9 月 12 日から 10 月 15 日

第 2 回審査会：10 月 18 日

審査結果通知：10 月 20 日（第 1 次審査結果：条件付き採択 19 件、不採択 11 件）

- ・第 2 次審査：11 月 15 日～12 月 6 日

第 3 回審査会：12 月 9 日

審査結果通知：12 月 16 日（第 2 次審査結果 採録（一部修正依頼）：17 件、不採録：2 件）

- ・修正原稿受付：1 月 31 日
- ・審査委員会での編集目次立て：2 月初旬
- ・学会事務局より著者に掲載料請求：2 月初旬
- ・審査委員会より正文社に原稿の送付：2 月下旬
- ・正文社より著者に著者校正：3 月

### 専門審査委員

赤井 愛 伊原 久裕 伊藤 孝紀 植村 朋弘 大坪 牧人  
岡崎 章 岡本 誠 尾登 誠一 菊池 司 佐々木 里史  
常見 美紀子 中井川 正道 原田 泰 藤本 英子 水津 功  
両角 清隆 山崎 隆之 山本 政幸 渡邊 英徳

### デザイン学研究・作品集 22 号（2016）奥付

日本デザイン学会

2016 年度 作品審査委員会

委員長 須永剛司

委員 清水泰博 五十嵐浩也 田中佐代子

幹事 上平崇仁 丸山素直 青沼優介

2016 年度 学会雑誌編集委員会

委員長 井口壽乃

委員 伊原久裕 黄ロビン 田中佐代子

幹事 児玉幸子 近藤存志

日本デザイン学会誌

デザイン学研究作品集 22 号 2016

発行日 2017 年 3 月 31 日

発行者 日本デザイン学会会長 松岡由幸

本部事務局

〒167-0042 東京都杉並区西荻北 3-21-15

ベルフォート西荻 703

TEL 03-3301-9318 FAX 03-3301-9319

作品審査委員会事務局 〒110-8714

東京都台東区上野公園 12-8

東京藝術大学 美術学部デザイン科 須永剛司

e-mail: jssd.sakuhinshu@gmail.com

印刷所

〒260-0001 千葉市中央区都町 1-10-6

株式会社 正文社

TEL 043-233-2235 FAX 043-231-5562

## 研究部会の活動報告、活動計画について

2017 年度総会のために研究部会の活動報告、活動計画を主査宛に依頼しました。

入稿していただいた研究部会には御礼申し上げます。

総会資料をご覧になって活動中の研究部会であって、研究部会の活動報告、活動計画が提出されていない場合にはご一報いただくか、web ページの更新をお願いいたします。

## 2016 年度第 9 回理事会議事録

日時■ 2017 年 2 月 4 日（土曜日）

14:00～17:00

場所■ 慶應義塾大学 三田キャンパス（田町）

北館会議室 2（1 階）

出席者■ 松岡、國澤、小林、井口、井上（貢）、大島、岡本、工藤、久保（雅）、黄、須永、滝本、田中、益岡、村上、山田、山中、禹、佐藤（弘）、小野、佐藤（浩）

委任状出席■ 井上（征）、内山、岡崎、柿山、久保（光）、佐々木、田村、寺内、生田目、山本

欠席■ 五十嵐、伊原、尾登、清水、櫛、永井、森田、柳澤、柚木、加藤

### 1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

### 2. 2016 年度第 8 回理事会議事録の承認

2016 年度第 8 回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

### 【審議事項】

### 3. 2017 年度春季研究発表大会について（岡崎大会実行委員長（代）工藤大会実行委員）

工藤大会実行委員より、2017 年度春季研究発表大会について、大会ホームページ、基調講演、オーガナイズドセッション、およびエクスカッションに関する準備状況の説明がなされた。具体的には、大会参加登録システムに付随するサービスを利用した大会ホームページ運用の検討や、内田洋行で空間デザインを手掛ける若杉氏へ基調講演を依頼しているとの報告があった。また、オーガナイズドセッションのテーマは「慮るデザイン」でパネリストもほぼ決定していることや、エクスカッションは日本橋クルーズやハトバスを検討しているとの説明があった。引き続き、検討していくこととなった。

### 4. 2017 年度春季大会オーガナイズドセッションの選定について（工藤企画委員会・総合企画委員長）

工藤企画委員会・総合企画委員長より、春季大会オーガナイズドセッションを募集した結果、4 件の応募があったとの報告がなされた。審議の結果、会員からの公募枠 2 件に理事会枠 1 件を合わせた 3 件分が採用となった。

### 5. 2017 年度秋季企画大会について（岡本担当理事）

岡本担当理事より、2017 年度秋季企画大会のテーマ「社会の中でデザインする」と全体日程について提案がなされた。審議の結果、テーマの内容については承認されたがタイトルについては「共創」といった言葉をいれることを検討することとなった。また、日程については、初日に横断的な部会のイベントを検討すること、2 日目に理事会を実施することとなった。詳細については、引き続き検討していくこととなった。

### 6. 2017 年度年間スケジュールについて（佐藤本部副事務局長）

佐藤本部副事務局長より、2017 年度の年間スケジュール案の提案がなされ、軽微な修正を除き、基本的な日程について承認された。

### 7. 特集号リニューアル版の装幀デザインについて（井口学会誌編集・出版委員長）

井口学会誌編集・出版委員長、田中委員より、リニューアル版特集号の装幀デザイン案の提案がなされた。審議の結果、学会誌編集・出版委員会での第一候補とする表紙とフォーマットとなった。なお、表紙については写真の解像度に応じて編集者が選択できることとした。

### 8. 授賞制度の追加について（松岡会長）

松岡会長より、研究ではない学会活動への貢献度の高い人物への授賞制度に関する提案がなされた。細かなルール等は今度検討していく必要があることを前提とし、試験的な選考を進めることとなった。また、次回の理事会までに対象者を推薦してもらい、魅力向上委員会で議論することとなった。

### 9. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員 8 名（内外国人 1 名）

退会：正会員 13 名

が承認された。

### 10. その他

- ・一般社団法人移行後の決算業務の委託について（國澤法人化対策特別委員会委員長）

國澤法人化対策特別委員会委員長より、法人化後の決算業務を公認会計士の池田雄二郎氏への委託に関する提案がなされ、承認された。また、同氏には、4 月の理事会では会計方法等について講義をしていただくこととなった。

- ・2017 年度春季大会テーマセッションの募集について（小林

研究推進委員長)

小林研究推進委員長より、2017年度春季大会テーマセッションの募集を各部会の主査に行うとの説明があった。募集結果については日程的な制約から、メールにて審議することとなった。

#### 【報告事項】

11. 2016年度春季大会決算報告について（禹大会実行委員長）

禹大会実行委員長より、2016年度春季大会決算報告がなされた。

12. 2017年度の春季大会概要集準備状況について

（永井概要集編集委員長（代）佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、2017年度の春季大会概要集の準備状況について報告がなされた。概要集のUSB化については引き続き費用の削減の検討を前提に準備を進めていくこととなった。また、発表申し込み期間と概要集原稿投稿期間に関するシステム運用方法については開催校と概要集編集委員会に一任することとなった。

13. 英文ジャーナル発行の進捗状況について（佐藤（浩）担当理事）

佐藤（浩）担当理事より、2017年5月発刊予定の英文ジャーナルの論文種別を含めた投稿規定の作成を行っているとの報告がなされた。

14. 特集号の進捗状況について（井口学会誌編集・出版委員長）

小林研究推進委員長より、法人化以降の研究部会活動に関する規定の内容確認がなされた。同内容を各研究部会へ送付することとなった。

15. Webサイト「会員の著作（仮）」の新設について（内山広報委員長、大島委員）

大島広報委員より、Webサイト「会員の著作（仮）」の新設の進捗報告がなされた。サンプルページの作成を次回の理事会までに進めることとなった。

16. 作品集22号の審査結果と編纂について（須永作品審査委員長）

須永作品審査委員長より、次回の理事会に向けて作品集22号に17件の作品が掲載されるとの報告がなされた。今後、3月下旬のJstage掲載を目指して編纂を進めていくとの説明がなされた。

住所変更はお済みですか？

住所不明で戻ってくる郵便物が

増えております。

住所変更は確実にお願いします。

届出は文書にてお願いします。

転居される方は、FAXまたは

綴じ込みの「入会届け」に

朱書きで「変更届け」と書き添えて、

事務局までご連絡ください。

ホームページ

[http://jssd.jp/files/change\\_regular.pdf](http://jssd.jp/files/change_regular.pdf)にも

様式が掲載されておりますので

ご利用ください。

退会等の届出も必ず文書にて

お願いします。

本部事務局

17. 事務局員の採用について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、2017年4月より事務局員を新たに採用するとの報告がなされた。

18. その他

・ CiNii のデータ移行完了について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、『デザイン学研究』の CiNii から J-STAGE へのデータ移行が完了したとの報告がなされた。また、公開処理について論文審査委員会で行うこととなった。

・ 機械工業デザイン賞における「日本デザイン学会賞」について（松岡会長）

松岡会長より、機械工業デザイン賞における「日本デザイン学会賞」の募集要項へ掲載されたとの報告がなされた。同賞の一次審査へは、小林副会長が出席することとなった。

・ 支部活動について（滝本第3支部長、益岡第4支部長）

益岡第4支部長より、1月28日に第4支部の研究発表会が京都繊維大学にて開催されたとの報告がなされた。また、滝本第3支部長より、3月18日に第3支部の研究発表会が名古屋学芸大学にて開催されるとの告知がなされた。

記録：佐藤（浩）

2016年度第10回理事会議事録

日時■ 2017年3月18日（土曜日）

13:30～16:00

場所■ 慶應義塾大学 三田キャンパス（田町）

北館会議室3（地下1階）

出席者■ 松岡、大島、岡崎、工藤、佐藤（弘）、

佐藤（浩）、加藤

委任状出席■ 國澤、小林、内山、久保（光）、須永、寺内

欠席■ 山中、小野、井口、山本

1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

2. 2016年度第9回理事会議事録の承認

2016年度第9回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2017年度春季研究発表大会について（岡崎大会実行委員長）

岡崎大会実行委員長より、2017年度春季研究発表大会の準備状況について説明がなされた。具体的には、大会概要や詳細なスケジュール等を大会ホームページに掲載し、講演の募集も開始済みとの報告がなされた。また、法人化後の大会委員長名義については本部事務局で司法書士の方に伺うこととなった。

4. 2017年度年間スケジュールについて（佐藤本部副事務局長）

佐藤本部副事務局長より、2017年度の年間スケジュールの修正案が提示され、確認がなされた。次回の理事会において、最終確認がなされることとなった。

5. 英文ジャーナルの執筆要項について（佐藤（浩）担当理事）

佐藤（浩）担当理事より、英文ジャーナルの執筆要項の追記について提案がなされた。『Journal of the Science of Design』における「Original Articles」「Research Reports」「Review Articles」の区分に関する説明文案が示され、承認された。

6. デザイン関連学会連携シンポジウムについて（松岡会長）

松岡会長より、デザイン関連学会連携シンポジウムの準備状況について説明がなされた。2017年9月30日に「バウハウスの功罪（仮）」をテーマとしたシンポジウム（幹事学会：意匠学会）が京都で開催されるとの報告がなされた。同シンポジウムではパネルディスカッションが予定されているため、各参加学会からパネリストを選出する必要があることから、松岡会長から候補者へ依頼することとなった。

7. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員5名（内外国人1名）、学生会員5名（内外国人3名）

休会：学生会員1名

退会：正会員4名

が承認された。

【報告事項】

8. 2017年度の春季研究大会演題登録サイトについて

（永井概要集編集委員長（代）佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、2017年度の春季大会概要集の準備状況について報告がなされた。概要集 USB の発注個数案（800個）については幹事校と連携して決定することとなり、USBへの印字については委員会提案の案をベースに検討してもらうこととなった。また、講演登録サイトの稼働期間（登録期間）



についても確認がなされた。

9. 2017年春季研究発表大会テーマセッションについて

(小林研究推進委員長(代)大島理事)

大島理事より、2017年春季研究発表大会テーマセッションへの講演募集について、予定通りにWeb上で開始されているとの報告がなされた。

10. 論文の審査状況について(佐藤(浩)論文審査委員)

佐藤(浩)論文審査委員より、2016年度の論文審査状況について報告がなされた。投稿数は前年度より30件近く多い100件となり、閲覧状況も増加傾向にあるとの報告がなされた。

11. 2016年秋季大会決算報告について

(小林大会実行委員長(代)加藤本部事務局担当理事)

加藤本部事務局担当理事より、2016年の秋季大会における決算報告がなされた。

12. 2017年藝研連パネルディスカッションについて

(小林大会実行委員長(代)加藤本部事務局担当理事)

加藤本部事務局担当理事より、「装飾」をテーマとした芸術学関連学会連合シンポジウム(2017年6月10日(土))の準備状況について報告がなされた。

12. 作品集審査進捗状況について(須永作品集審査委員長(代)

松岡会長)

松岡会長より、2016年度作品集審査の総括について報告がなされた。

13. Webサイト「会員の著作(仮)」の新設について(大島広報委員)

大島広報委員より、Webサイト「会員の著作(仮)」の準備状況について報告がなされた。Web上での入力フォームが完成し、フォームを通して著作情報を登録することでそれらの情報がメールで配信される仕組みが試行できるとの説明がなされた。次回の理事会において、試行結果について報告することとなった。

記録：佐藤(浩)

## 2017年度第1回理事会議事録

日時■2017年4月8日(土曜日)

14:00~17:30

場所■慶應義塾大学 三田キャンパス(田町)

北館会議室2(1階)

出席者■松岡、國澤、井口、井上(貢)、大島、岡崎、岡本、清水、工藤、久保(雅)、黄、佐々木、須永、滝本、田中、寺内、生田目、佐藤(弘)、小野、佐藤(浩)、加藤

委任状出席■小林、井上(征)、伊原、内山、尾登、柿山、櫛、田村、永井、益岡、森田、柳澤、山田、山本、柚木

欠席■五十嵐、村上、山中

1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされ、新規事務局員杉田氏の紹介がなされた。

2. 法人化による会計手続きに関する説明(公認会計士池田氏)

池田公認会計士より、法人化後の税務や実務上の留意点について説明がなされた。

3. 2016年度第10回理事会議事録の承認

2016年度第10回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

### 【審議事項】

4. 2017年度学会活動方針(松岡会長)

松岡会長より、2017年度の学会活動方針の提案がなされた。2016年度の振り返りと2017年度の活動方針について承認された。

5. 2017年度学会年間スケジュールについて(佐藤本部副事務局長)

佐藤本部副事務局長より、2017年度の年間スケジュール案の提案がなされ、基本的な日程について承認された。また、拡大理事会では各理事が最新の事業や会計状況について報告を行うよう努めることとなった。

6. 名誉会員推挙について(松岡会長)

松岡会長より、名誉会員の推挙について説明がなされた。審議の結果、井上勝雄先生を推薦することとなり、石川善美先生

は松岡会長から、石村真一先生は井上（貢）理事からご本人のご意向を確認することとなった。

7. 2017年度春季研究発表大会について（岡崎大会実行委員長）  
岡崎大会実行委員長より、準備状況について報告がなされた。大会委員長を松岡会長とし、概要集の個数を700個とする提案があり、承認された。なお、大会実行委員長の選定については、今後も大会幹事校の意向により決定されることが確認された。また、企業団体展示、大会告知チラシ、大会期間中のネットワーク利用等の準備を進めているとの報告がなされた。

8. 2017年度秋季企画大会について（岡本担当理事）  
岡本担当理事より、秋季企画大会の企画案の提案がなされた。テーマ案「共創・当事者デザイン」と日程案の説明がなされ、会員による発表の場の設定や学生プロポジションの時間変更を検討することとなった。詳細については引き続き検討していくこととなった。

9. 特集号デザイン・リニューアルに関わる追加経費について（井口学会誌編集・出版委員長）  
井口学会誌・編集・出版委員長より、特集号デザイン・リニューアルに関わる追加経費について説明がなされた。審議の結果、マットコートなどの仕様変更に伴う追加経費の支出について承認された。

10. 2016年度第3支部活動補助費について（佐藤本部事務局長）  
佐藤本部事務局長より、第3支部の2016年度活動補助費超過分の補填に関する報告がなされた。審議の結果、今後の計画的な運用を条件に第3支部の2017年度予算を充てて対応することとなった。

11. Webサイト「会員の著作（仮）」の新設について（内山広報委員長、大島委員）  
大島広報委員よりWebサイト「会員の著作」申請手順の提案がなされた。審議の結果、承認され、2017年4月以降出版の会員の著作について試行していくこととなった。

12. 2017年度総会式次第について（佐藤本部事務局長）  
佐藤本部事務局長より式次第の説明がなされた。法人化に伴う手続きを確認後、司会や具体的な式次第の内容については次回の理事会で決定することとなった。また、2016年度活動報告と2017年度活動計画について、5月上旬を目途として各委員会と部会の長にお願いすることとなった。

13. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）  
事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、  
入会：正会員11名（内外国人2名）、学生会員14名（内外国人5名）  
退会：正会員16名、学生会員4名  
が承認された。

#### 【報告事項】

14. 2017年度春季研究発表大会演題登録と概要集について（永井概要集編集委員長）  
佐藤本部事務局長より、春季研究発表大会概要集の準備状況の報告がなされた。USB概要集に印字するデザイン案、配布方法、金額、および個数等の説明がなされた。

15. 特集号の進捗状況について（井口学会誌編集・出版委員長）  
井口学会誌編集・出版委員長より、発刊が滞っていた分も含めた号が5月上旬には会員へ発送できるとの報告がなされた。またリニューアル第1号の特集号についても予定通り発刊されたとの説明がなされた。

16. 作品集の進捗状況について（須永作品審査委員長）  
須永作品審査委員長より、4月末にJ-Stageへの作品集掲載が完了することと2016年度の決算について報告がなされた。

17. 論文集（英文ジャーナル、デザイン学研究）の進捗状況について（寺内論審委員長、佐藤（浩）論審委員）  
佐藤（浩）担当理事より、4月中の『デザイン学研究』発行、5月中に発刊予定である国際誌『Journal of the Science of Design』の準備状況が報告された。また、国際誌の装幀デザインは学会誌編集・出版委員会でご検討いただくこととなった。さらに、論文査読者の専門分野キーワードについて見直し、追加を行っていくとの説明がなされた。

18. 横幹連合「コトづくり至宝認定事業」委員について（松岡会長）  
松岡会長より、横幹連合「コトづくり至宝認定事業」委員を村上担当理事と、グッドデザイン賞の経験豊富な蘆澤雄亮氏が担当するとの報告がなされた。

記録：佐藤（浩）

## 募集案内

第39回（2017年度）沖縄研究奨励賞 推薦応募について

1. 応募開始 2017年7月15日（当日消印から有効）
2. 応募締切 2017年9月30日（当日消印まで有効）
3. 応募資格 (1) 沖縄を対象とした優れた研究を行っている  
(2) 2017年7月15日現在、50歳以下  
(3) 学協会、大学、研究機関または実績のある研究者から推薦を受けた者  
(4) 出身地及び国籍は問わない
4. 応募書類 ①「沖縄研究奨励賞応募用紙」  
②研究成果物（論文3編以内、著書がある場合1冊）  
③研究成果物（論文または著書）の簡潔な要旨（A4判、横書き、1,000字以内）  
④主な業績の目録（著書、論文等30点以内）
5. 応募方法 応募書類（①～④）を添えて郵送により提出する。
6. 受賞者の発表 2017年12月上旬
7. 贈呈式・受賞記念講演  
2018年1月25日（木）、パシフィックホテル沖縄（那覇市）で開催

### 【応募書類の送付先】

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-7-3 3F  
（公財）沖縄協会「沖縄研究奨励賞」係

### 【お問い合わせ】

TEL：098-997-3011 FAX：098-997-2678  
<http://www.okinawakyoukai.jp/>  
E-mail [okinawakyoukai@okinawakyoukai.jp](mailto:okinawakyoukai@okinawakyoukai.jp)  
担当：宮里秀明

## 献本御礼

### ◆機関誌

第6回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2016 in 名古屋 報告書、国際ユニヴァーサルデザイン協議会、2016  
日本オフィス学会誌、第9巻・第1号、2017年4月、日本オフィス学会  
多摩美術大学研究紀要、第31号、研究紀要委員会編、2017年3月、多摩美術大学  
多摩美術研究 第6号、多摩美術研究編集委員会、2017年6月、

多摩美術大学大学院美術研究科

### ◆図書

デザインのあれこれ 100 Keywords of Design、JAGDA REPORT Vol. 191、日本グラフィックデザイナー協会編、2017年7月、誠文堂新光社

## 会員の移動

### ◆2017年度2回理事会承認 2017.05.13

#### 新入会

正会員 35名（内海外会員4名）

赤坂 文弥	秋田 和弥	荒木みどり	稲船 仁哉
岩倉 正司	梅川 未来	大野 匠	岡田 侑里
片山 茂樹	加藤 幸佳	河合 純一	川端久美子
清島 永	小堀田良子	迫坪 知広	佐藤壮一郎
武山 泰	富田 直秀	富田奈都美	長崎 智宏
松岡 英気	三木 清史	宮田 義郎	宮之下さとみ
本山 真帆	森下 晶代	山口真由美	山越 双葉
山本 努武	弓場 雅晴	吉田 健人	Hsien-Chun Wu
Chen, Ying-Hsun		侯 博倫	楊 雅淳

学生会員 63名（内海外会員9名）

浅田 史音	芦田ひかり	石原 聖也	板倉 七海
伊藤 圭祐	白井 花奈	内堀裕一朗	梅村 隼多
大場 勇哉	小笠原直人	奥村美奈代	長田 直
小田 彩花	小畑 慧	加藤 健大	川島 大輝
菅 匠	岸本 大輝	久富 望	倉持 歩
小鯖 智之	沢田 信哉	澤田 亮三	杉山 裕香
妹尾 涼	高木 友貴	高橋 香輝	高橋めぐみ
田中隆司郎	鶴岡 将大	飛塚慎太郎	中谷 亘皓
萩原 園華	萩原 志周	橋本 真実	濱西 冴月
福山 雅人	藤田 和秀	藤田真実保	堀場 建太
松井 咲樹	松本 大志	宮本 賢太	三輪明日希
向井 翔太	森本 涼子	藪谷 祐介	山内 雅貴
山下 涼太	横山 翔栄	若尾健太郎	若杉 慈円
和田 歩美	渡辺 弘樹	Chacon Quintero Juan Carlos	
Martinez Nimi Hisa Maria		Yao Lili	GE SIJIA
郭 庚熙	葛 斯佳	SUTAS PORNPAN	
TRAN MAI LINH		AMBAR Mulyono	

退会

正会員 5名

鶴飼 昭年 小野寺和代 谷口 由佳 佃 五月

山本美穂子

賛助会員 1件

(株) アップアローズ

◆ 2017 年度三回理事会承認 2017.06.30

新入会

正会員 7名 (内海外会員 1名)

荒井恵梨子 伊藤兼太郎 河野 良平 西田 真一

藤枝 宗 山浦 和彦 徐 慧

学生会員 6名 (内海外会員 3名)

小田原多加乃 松ヶ瀬美歩 南本 翔 楊 鵬

Wang Yun-Ciao Li Wentao

退会

正会員 6名 (海外会員 1名)

立石知佳子 田中 靖子 友岡 秀秋 南部美砂子

新野 佑樹 尹 永泰

学生会員 12名 (内海外会員 2名)

秋山 佳菜 大久保翔太 小倉 有輝 川村 光平

畑 政貴 星野 早紀 前田 牧徒 吉田 茉由

深町 駿平 伊藤 夏海 白 柳爛

Deny Willy Junaidy

年間購読会員 4件

大阪府立中央図書館 資料情報課

中央図書館 雑誌情報係 (MZ)

関西学院大学 図書館

山口県立大学附属図書館

自動引き落とし手続きのお願い

当学会では、会費の自動引き落としが義務付けられております。すでに、半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが、まだ登録がお済でない会員の方は、登録手続きをされますよう、お願い申し上げます。また、口座引き落とし依頼書がお手元にない方は、本部事務局へご請求ください。

本部事務局